

イメージをつかむ

● 日本のお葬式

人が死ぬことをやわらかい言い方で、「亡くなる」といいます。

亡くなった人のそばで一晩いることを「通夜」といいます。

「喪服」といわれる黒い着物か洋服を着ていきます。また、ふつう亡くなった人のために「香典」を持っています。香典にはお金を持っています。

お葬式



この写真は仏教式(仏教のスタイル)の「葬式」です。

仏教式では、葬式に来た人は「焼香」をします。

写真) みんなの教材サイトより

体験(たいけん)・行動(こうどう)する

かつどう はな
■活動 1 – 日本のお葬式について話しましょう

(1) にほん 日本でお葬式そうしきに行ったことがありますか。

なくなった人ひとは 近所きんじょの人ひとですか。

しん 親せきですか。

しごと 仕事の友だちともの関係かんけいですか。

(2) どんな服ふくを着て、なにきを持ってもいきましたか。

それはどんなお葬式そうしきでしたか。

にほん
日本では

ぶっしき 仏式きょうしきがおおいです。キリスト教ときどき式も時々あります。

さいきん 最近かぞくは家族そうしきだけのお葬式かぞくもあり、家族が挨拶あいさつするだけのものもあります。

ここでは、だいたい仏式ぶっしきをしょうかいします。



たいけん 体験 (たいけん) ・ こうどう 行動 (こうどう) する

かつどう こうでん ようい
活動 2 - お香典を 用意しましょう。

(1) 香典袋 (不祝儀袋ともいいます)の書き方は宗教でちがいますが、
 おな
 同じものもあります。

ぶつしき 仏式(スタイル) 	なくなってから 四十九(49)日までは ごれいぜん 「御霊前」 ご ごぶつぜん その後は「御仏前」 おこうでん そうぎ ほうじ 「御香典」は葬儀・法事どちらでもい ぶつきょう しゅるい い。(仏教の種類はたくさんありま ず。やり方もちがいます。)
しんしき 神式 	おさかきりょう おくもつりょう 「御榊料」・「御供物料」・ おたまぐしりょう ごれいぜん 「御玉串料」・「御霊前」
きょう キリスト教式 	プロテスタント「御花料」 おはなりょう カトリック「御ミサ料」 おん りょう ごれいぜん 「御霊前」

しゅうきょう とき
宗 教 がわからない時は・・・
「ごれいぜん」



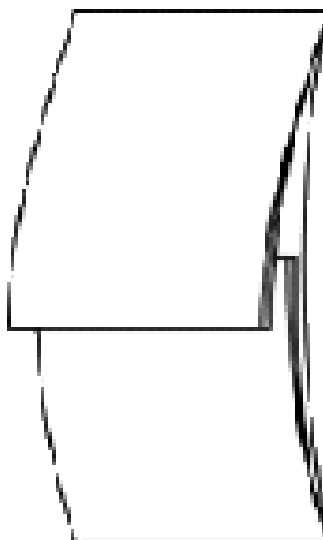
◆お^{かね}金を入れた後^いに お^{あと}り方^{かた}を まちがえないようにしましょう。

『うしろから見た図』

なかづつみ
中包み(中にある、ふくろ) を紙^{かみ}の中央^{ちゅうおう}におき、

みぎ ひだり じゅん おり うわがわ
右・左の順で折り、上側を

したがわ
下側にかぶせる。



◆ けっこん
結婚のときは、ぎやくです。

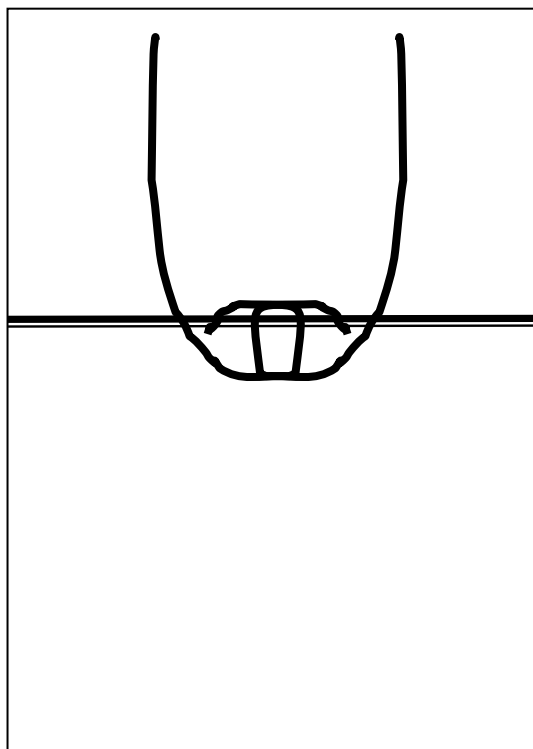
(2) いくらぐら^い入れたらいいでしょう。例、著作権のため、書き換え必要

(3) 書いてみよう

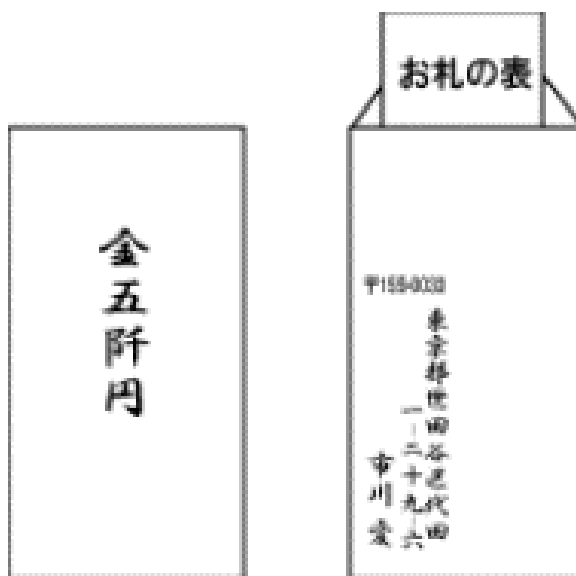
ふで
筆ペンなどをつかって、ふくろの水引^{みずひき}

から上に、「御霊前^{ごれいぜん}」と書きます。

した
下になまえを フルネームで書きます^か



なかぶくろ
中袋には、かならず、住所・氏名・^{じゅうしょ しめい} 金額^{きんがく}を書きましょう。



■ 活動 3 - なにを着ていきますか。

つや
通夜

きゅう 急 なときもあります。しごと かえ 仕事の帰りのときもあります。

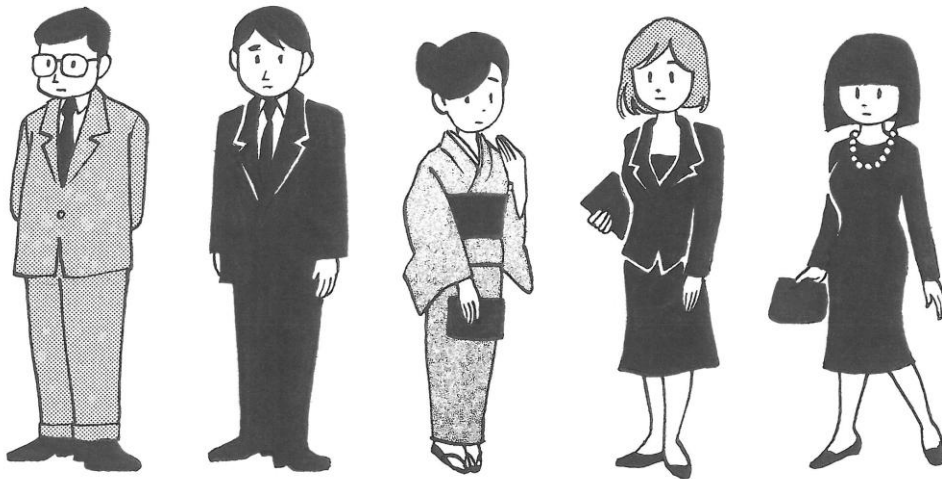
マナー ○ じみ 地味なもの ならいいです。

ひか × 光るアクセサリー、ネクタイピン、こ いろ 濃い色のマニキュア

ぶっしき ☆ 仏式 のときは「数珠」を もって いきます。

そうしき 葬式 (つや 通夜)

くろ いふく もふく 黒だけの衣服は「喪服」といいます



ダークスーツ ブラックスーツ じみ いろ 地味な色の くろ こんいろ 黒、紺色などの ワンピース

おじ 無地のきもの スーツ

マナー ○ しろ くつした くろ 白ワイシャツは、靴下とストッキングは黒、バッグも黒

× エナメルのかぶ、

■ 活動 4 - お葬式に参列します。

お葬式は、だいたい 2 日間で おこなわれます。

① お通夜 → ② 次の日 葬儀、告別式

① お通夜

亡くなった日の夜にすることが多いです。

次の日にすることもあります。

亡くなった人と親しかった人や、親せきなどが集まります。

お坊さん(僧侶)が来てお経をあげたあと、集まった人たちに簡単な食べ物と飲み物がでます。

マナー えんりょしないですたべますが早めにかえります。

② 葬儀・告別式

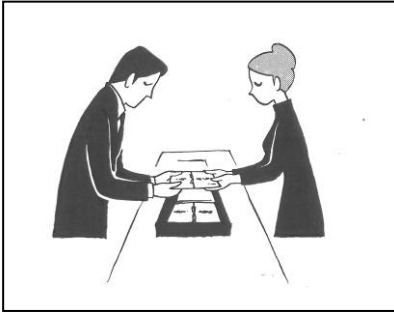
葬儀 ⇒ 仏教の場合は、まずお坊さんがお経を読みます。

亡くなった人が生きている人とお別れをします。

告別式 ⇒ 集まった人たちが亡くなった人とお別れをする儀式です。

来た人は一人ずつお棺の前まで行って、手を合わせ、「焼香」をします。

うけつけ きちよう
受付で記帳



うけつけ
受付のひと

- 1) 香典をわたします。
- 2) 住所と名前を書きます。

⇒ (きちよう
記帳)

しょうこう しかた
お焼香の仕方

- ① 亡くなった人の家族と「僧侶」におじぎをしてから、
「合掌」する。



- ② 「香」をつまんで、
額(目)の高さにあげる。
- ③ 香を容器にいれる。
(3回することもある)

- ④ 合掌して、亡くなった人の写真を見て両手を合わせて祈る

すわって、するときは、となりへまわします。



- ⑤ 最後に 遺族に おじぎをします。

かつどう 活動 5 お葬式での会話、あいさつをする。

◎遺族に会ったら、気持ち伝えて、

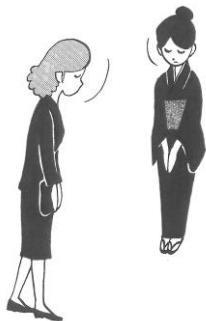
たいへん 大変ていねいなことばで あいさつします。

い 言ってみましょう。

「このたびはご愁傷様です。」

「このたびは突然のことで大変でしたね。」

「こころからお悔やみ申し上げます。」



「このたび」 ⇒ こんかい

「ご愁傷様です。」 ⇒ きのだくに おもいます。
かなしいです。

「お悔やみ もうしあげます」 ⇒ ざんねんなきもちをいいます。

◎受付では

しずかに おじぎする だけでも いいです。

ことば・表現 (ひょうげん) を知る (しる)

◆ ことば・表現 ^{ひょうげん} お葬式 ^{そうしき} の ことば

^{つや}
(お)通夜

wake・velorio[ポ]・lamay[タ]

な 亡くなった日の夜にすることが多い。
ひ よる おお

じゅん び ま あ よくじつ よる
準備が間に合わなければ、翌日の夜。

^{そうぎ}
葬儀

^{こくべつしき}
告別式

funeral

な 亡くなった人とおわかれを
ひと

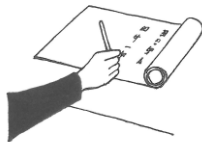
するセレモニー。

* [ポ]ポルトガル語 [タ]タガログ語

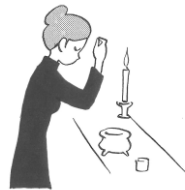
^{もふく}
喪服



^{きちょう}
記帳 register



^{しょうこう}
焼香 burn incense



^{じゅず}
数珠

^{がっしょう}
合掌



ぶっしき
仏式で、おいのりする。

て
手にもつ。

^{せんこう}
線香・ろうそく



かそうば
火葬場

crematory

ちょうでん
弔電

condolatory

telegram

ちょうじ
弔辞

funeral

address

いぞく
遺族

な なくなった人 ^{ひと}

かぞく
の家族

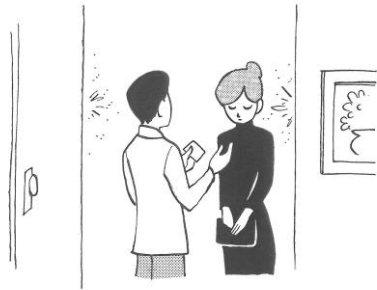
おかえし
お返し

return gift

いぞく こうでん はんぶん
遺族から香典の半分ぐらい

きんがく
の金額のものをかえます。

きよ しお
清めの塩



sacred purification rites

いえ かえ
家に帰ったら、もらった塩 ^{しお} をかける。

指導ノート

取り上げる生活上での事例

「身近に急なお葬式があるとき、あわてない」

「お香典をどのように用意するか」

「不祝儀での服装や会話のマナー」

教室活動の目標

「実際の場面で、活用できる香典や服装の用意を知る」

「お悔やみの決まり文句を知り、言える」

「日本の文化事情や慣習、語彙を知る」

教室活動のねらい

「日本人の家族や親族、近所、同僚のお葬式に出席する時、スムーズに行動できる」

「場面に応じた会話、動作ができる」

「日本文化やマナーを知る」

「決まり文句を知り、適切に発言できる」

活動前に確認しておくこと

「日本の儀式に出席する機会があったか」

「マナー、常識本、その地方、地域性を調べ、用意する」

「世界の宗教について、知っておく」

準備する素材

「不祝儀袋」（祝儀、その他の参考）

「レアリア」（数珠など）